

平成 29 年度 宮崎県山岳連盟 評議員会 議事録

平成 29 年 4 月 16 日（日）宮崎市青少年プラザ 3 F 音楽室

会長挨拶 古里会長より挨拶

資格審査 長友理事長より 13 団体中 12 団体の参加により評議員会が成立するとの報告

議長選出・書記・議事録署名者委嘱

議長：尾形（諸塚山岳会） 書記：下村（高体連）

議事

< 1 号議案 平成 28 年度宮崎県山岳連盟事業報告 >

長友理事長から平成 28 年度の事業報告

< 2 号議案 平成 28 年度会計決算報告ならびに監査報告 >

住田会計から決算報告・上原理事から監査報告

< 質疑応答 >

松崎 研修会の参加費は会員からも徴収したのか。

長友 一般参加者のみ 1,000 円を徴収し、会員からはもらってない。

松崎 山岳連盟の資産は定期預金の 120 万円と繰越の 81 万円のみ、国体を開催するためにこれを使っていけばやがて赤字になる。増やすことを考えなければいけない。

上原 山岳共済に入れば還付金がある。今年度は約 5 万円。会員はぜひ加盟してほしい。

松崎 クライミング協会の会計を公開してほしい。

長友 クライミング協会は一加盟団体なので、他の山岳会と同様に個々の会計を公開する必要はない。

鳥井 県体育館の人工壁は山岳連盟の依頼で県が設置したもの。そこでの収支は山岳連盟に報告の義務があるのではないかと。

金丸 県体育館を利用しているのは、山岳連盟の加盟団体だけではない。

一宮 県体育館の人工壁の利用料は、県施設協会に各団体が支払い、各団体が利用者からそれぞれ利用料を集めている。また、壁の補修等が必要な時は話し合っ各団体から出してもらっている。クライミング協会が使用料を集めているわけではない。

楠木 県体協や日山協からの補助金については会計報告が必要。

（会計からジュニアブリッジ育成事業・選手強化補助金の金額の明細報告）

長友 補助金は、適正に選手強化に使用し、県体協に報告している。報告書も提示できる。

楠木 クライミング協会の収支は赤字と聞いている。会計報告を示してもらえば、山岳連盟から補助とかもできるのではないかと。また、将来はクライミング教室などで事業収入を得ることも考えてほしい。

古里 競技の面はクライミング協会にお願いしているが、実務の面も今後はクライミング協会でお願したい。また、収支も示してもらいたい。

一宮 今日は黒木会長の代役で参加した。クライミング協会の会計報告は、持ち帰って協会内で承諾を得ないといけないが、個人的には公開しても問題ないと思う。県体育館は、各団体がそれぞれ使用料を県スポーツ施設協会に支払って。スポーツクライミング協会に使用料は入らない。

国体選手選考会など、コンペの時だけ参加費を集めているが、実質は赤字である。理由は高所作業車とセッターに支払う料金が高いため。

鳥井 山岳連盟は競技団体だ。山岳競技は現在、クライミングのみ。山岳連盟の運営はスポーツクライミング協会が主体になって行うような組織の再編が必要。そして山岳連盟としてクライミングハウスの建設を県スポーツ振興課に要請し、普及と強化の場にすべきではないか。県有地等を探して、具体的なプランを示すなど、強く働きかければ、県も動くはず。

議長 1号議案と2号議案の承認・・・多数決で可決

<3号議案「平成29年度事業計画案」>

(事務局より29年度の事業計画説明)

<4号議案「平成29年度会計予算案」>

(会計より会計予算案説明)

鳥井 予算段階で、収入よりも支出が多い。このままでは資産を食い潰すのみ。有名登山家を招いての講演会など、イベントを企画して事業収入を増やすことが必要。そのためのプロジェクトチームをつくってはどうか。競技会の支出を減らすためにもセッターの養成が急務だ。

会計 県体では役員旅費が多い。これだけの役員が必要なのか疑問。

上原 役員は必要。

長崎 年間行事の中で、会に協力要請するものはどれか。

上原 岳朋会には、岩登り安全登攀技術研修会の運営をお願いしたい。

樋ノ口 個人会員の会費が3,000円だが、今日は1,700円の交通費を貰った。心苦しいので返納したい。

松崎 すべての役員に旅費を支給しては赤字になる。出席を要請した役員のみに支給することにしてはどうか。

長崎 負担金の値上げは検討しないのか。

長友 来年度は値上げの方向。

議長 負担金を来年度以降値上げの方向で理事会で話し合うことでどうか。・・・多数決で議決

成崎 幽霊会員の存在も問題。正しい会員数を報告する必要がある。

会計 昨年度、会員名簿が出たのは高千穂山の会のみ。

成崎 個人情報の管理を適正にお願いしたい。

会計 他に出すことはない。

上原 これまでの研修会の講師は手弁当。旅費は出さずに講師には講師料として一定額を出すことにしてはどうか。

甲斐 講師個人ではなく、担当した山岳会に払うことではどうか。

長友 要請した山岳会に講師料を払うことにしたい。金額については理事会に任せてほしい。

鳥井 県民スポーツ祭は約70年前から当時の国体で行われていた「縦走」と「踏査」を岳連独自のルールで今でも行っているが、国体と同様に「クライミング競技」を実施すべきではないか。

上原 他県の状況は？

古里 九州内では「縦走」をやっている県が多いが、タイムレースと交流登山を秋に実施している。

甲斐 「踏査」は下見で写真、GPS、測量までやっている会があり、競技の意味がない。

松崎 国体がクライミングになった今、県体はクライミング競技にして、各山岳会の交流は別の時期に行う方向で今後は検討すべきではないか。

上原 全体での交流は難しいかもしれないが、2つの山岳会が合同でペア交流登山なら可能ではないか。

議長 今後、県民スポーツ祭は「クライミング競技」に移行し、各山岳会の交流登山は別に企画する。詳細は理事会で話し合うことでどうか・・・多数決で議決

議長 その他

上原理事より平成29年度県民総合スポーツ祭について説明あり

日程・役員・会場など、踏査はスマホ・GPSは不可

鳥井 クライミング協会からもぜひ役員を出してほしい

松崎 県体の当日の8時に選手が到着しても参加できるか

上原 監督が受付をすれば大丈夫。

上原 今年は、この案で県民スポーツ祭を実施させてほしい。

来年度の計画は12月までには県体協に提出しないとイケない。理事会で早急に検討が必要。

長崎 「クライミング競技」の方向性は賛成だが、安全登山についてはどんな取り組みをしないといけないかも考える必要があると思う

松崎 クライミング競技と一般山岳会をどう育成するかが課題。

クライミング競技者も山登りはしてほしい

議長 来年度以降、県民スポーツ祭はクライミング競技で実施する。そのための役員改選も来年度行う。また、各山岳会の交流登山については今後理事会に一任する。以上で議事を終了。

会計 会計は交代してほしい。

長友 了解した。クライミング協会から出してほしいが、協議が必要。しばらく待ってほしい。

会計 できるだけ早くお願いします。

議事終了後、一宮繁紀氏より「宮崎県体育協会スポーツ功労賞」について内示報告あり。

県体協会からスポーツ功労賞を6月に授与されるとの連絡があった。受賞理由は平成10年に宮崎県体育館に人工登攀壁が設置されて以来、現在まで管理責任者として人工壁の保守や安全対策に協力している。また、県体育館の利用者にクライミング講習会を実施し、技術面・安全面の指導を行っている。長年、宮崎県山岳連盟の理事も務めるなど、本県のスポーツクライミングの推進に顕著な功績が認められる。「大変名誉なことで、感謝します。」(一同拍手)